



地域のほっこりしたこと

広報連絡委員 黒須 美恵子

全国的に少子高齢化が進み、歯止めが利かない状況です。若い世代は夫婦共働きが増え、子育てしながらの家事・育児はとても大変です。そこに追い打ちをかけるようにコロナ禍となり、人と人との繋がりが以前にも増して、希薄になっています。

最近、地域でのちょっとほっこりしたことを二つ紹介します。

一つは、幼稚園と老人クラブによる世代間交流の「芋ほり」です。我が家の近くで孫も参加するので覗いてみました。大きく育ったサツマイモを一生懸命掘って大興奮！「僕のが一番大きいよ。」「私のが一番。」とあちらこちらで園児の大きな声が響きわたります。それを手助けするお年寄りたちも笑顔が絶えません。

更に休憩の時間になると、大きな声に誘われてきたのか、ご近所の赤ちゃんが若いママに連れられてきました。一緒に芋ほりならぬ土遊び、園児達は大喜びです。お年寄りの人達もこの孫だ、

ひ孫だの和気あいあいと談笑しています。私の子どもの頃は、こんな風景もあちらこちらで見かけたものでした。

もう一つは、小学校の登下校時、緑のたすきをかけたお年寄りの姿を見かけることです。雨の日や暑い日・寒い日も一日も休まずに、ボランティアで見守りをしてくれています。こうした善意が、地域と子ども達の安全につながっているのでしょう。頭の下がる思いです。

私も六十歳を過ぎた今、これといった趣味もなく何の変哲もない生活をしています。これから、地域で趣味やボランティアをしながら何かできることをやっていければと思います。



シリーズ 野木町のごみ処理 127

問生活環境課 ☎(57)4246

資源物の出し方(その1)

資源物のびん・缶は不燃ごみでは収集しません。ペットボトルは、可燃ごみでは収集しません。分別の方法について、皆様のご協力をお願いします。

びん・缶(そのまま飲める飲料用に限りです)



1. 軽く水ですすいで、汚れを取り除く。
2. 資源物の集積所に設置されたオレンジ色のコンテナに袋から出して、びんが割れないように缶も一緒に入れる。

※間違えやすいものとして、缶詰の缶、粉ミルク缶、インスタントコーヒーのびん等は不燃ごみで出してください。
※キャップは外して、金属製は不燃ごみへ、プラスチック製はプラ容器で出してください。

ペットボトル(飲料用・調味料用  がついているもの)



1. 軽く水ですすいで、汚れを取り除く。
2. 資源物の集積所に設置された青色のコンテナに袋から出して入れる。

※食用油や洗って汚れが落ちないものは可燃ごみで出してください。
※ラベルとキャップは、外してプラ容器へ出してください。残ったリングは、外さなくて大丈夫です。